

カリキュラム区分		3カリ			シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位	
		学年	学期						
専門分野	M223	1年	前期	看護学	選択	地域看護学特論Ⅰ Advanced Study on Community Health NursingⅠ	30	2	
担当教員									
田中 美延里		牛尾 裕子＊							
関連するDPキーワード（看護学専攻）									
○	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
○	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）									
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
授業目的									
地域看護学の基礎理論・周辺理論とその主要概念について、実践・研究例を通して学ぶ。									
到達目標（授業目標）									
①地域看護学の基礎理論と主要な概念を理解できる									
②地域看護学の周辺理論と実践・研究例を理解できる。									
③理論を活用した地域診断の方法を説明できる。									
④地域看護職に求められる能力と倫理的判断について意見を述べることができる。									
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	地域看護学への導入：理論を学ぶ必要性、研究を進めるための知識と汎用性スキル（田中美延里）								
2回	地域看護学への導入：地域看護学/公衆衛生看護学の定義と体系、国内外の関連学会の動向および近年のトピックス（田中美延里）								
3回	理論的基礎：コミュニティとシステム理論（田中美延里）								
4回	理論的基礎：コミュニティとストレス理論（田中美延里）								

5回	地域診断のモデル：コミュニティ・アズ・パートナーモデル（田中美延里）									
6回	地域診断のモデル：地域構造のモデル（田中美延里）									
7回	周辺理論と地域診断への活用：文化ケア理論と民族看護学－実践例（田中美延里）									
8回	周辺理論と地域診断への活用：文化ケア理論と民族看護学－研究例（田中美延里）									
9回	周辺理論と地域診断への活用：エスノグラフィ的接近（田中美延里）									
10回	周辺理論と地域診断への活用：参与観察の方法（田中美延里）									
11回	地域看護実践と倫理：倫理的課題の特徴と対応（田中美延里）									
12回	地域看護実践と倫理：事例検討の試み（田中美延里）									
13回	地域看護職に求められる能力：歴史に残る活動事例から学ぶ（1）倫理的判断（牛尾裕子）									
14回	地域看護職に求められる能力：歴史に残る活動事例から学ぶ（2）専門職の行動基準（牛尾裕子）									
15回	地域看護職に求められる能力：保健師のコンピテンシーとその開発（田中美延里）									
16回										
17回										
18回										
19回										
20回										
21回										
22回										
23回										
24回										
25回										
26回										
27回										
28回										
29回										
30回										
成績評価方法及び基準										
課題レポート（60％）、プレゼンテーション（40％）の合計で評価する。トータル60点以上を合格とする。										
教科書										
参考図書等	①Anderson, E.T.& MacFarlane, J著, 金川克子他監訳：コミュニティ アズ パートナー；地域看護学の理論と実際, 医学書院. ②佐伯和子：地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド第2版, 医歯薬出版.③Leininger, M. M著, 稲岡文昭監訳：レイニンガー看護論；文化ケアの多様性と普遍性, 医学書院. ④Spradley, PJ著, 田中美恵子・麻原きよみ監訳：参加観察法入門, 医学書院. ⑤日本公衆衛生協会編：ふみしめて五十年/保健婦活動の歴史, 日本公衆衛生協会. ⑥奥山則子他編：ふみしめて七十年；老人保健法施行後約30年間の激動の時代を支えた保健師活動の足跡, 日本公衆衛生協会.									
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）										
随時、事前学習課題を提示する。										
関連科目										
前科目	M101	保健医療システム論								
後科目	M204	理論と看護実践論	M224	地域看護学特論Ⅱ	M225	健康科学特論	M226	地域看護学・健康科		
実務家教員										
保健師（行政機関）		田中 美延里	牛尾 裕子＊							

備考	
----	--